

GW3.5MX2-SLAN/CB

ハードウェア概観

外箱



付属品

説明書とACアダプタとイーサケーブルとCD-ROMです。CD-ROMにはNASとしての(スクリーンショット多数の)マニュアルとWindowsでセットアップするためのプログラムが含まれていました。ハードウェアの詳細の情報は含まれてないです。



AC アダプタ

12V4A のようです。



フロント

OEM そのままですね。プラスチックです。



背面

これまた OEM そのままです。Power スイッチはプッシュ式なのです。LAN コネクタの左はリセットスイッチです。



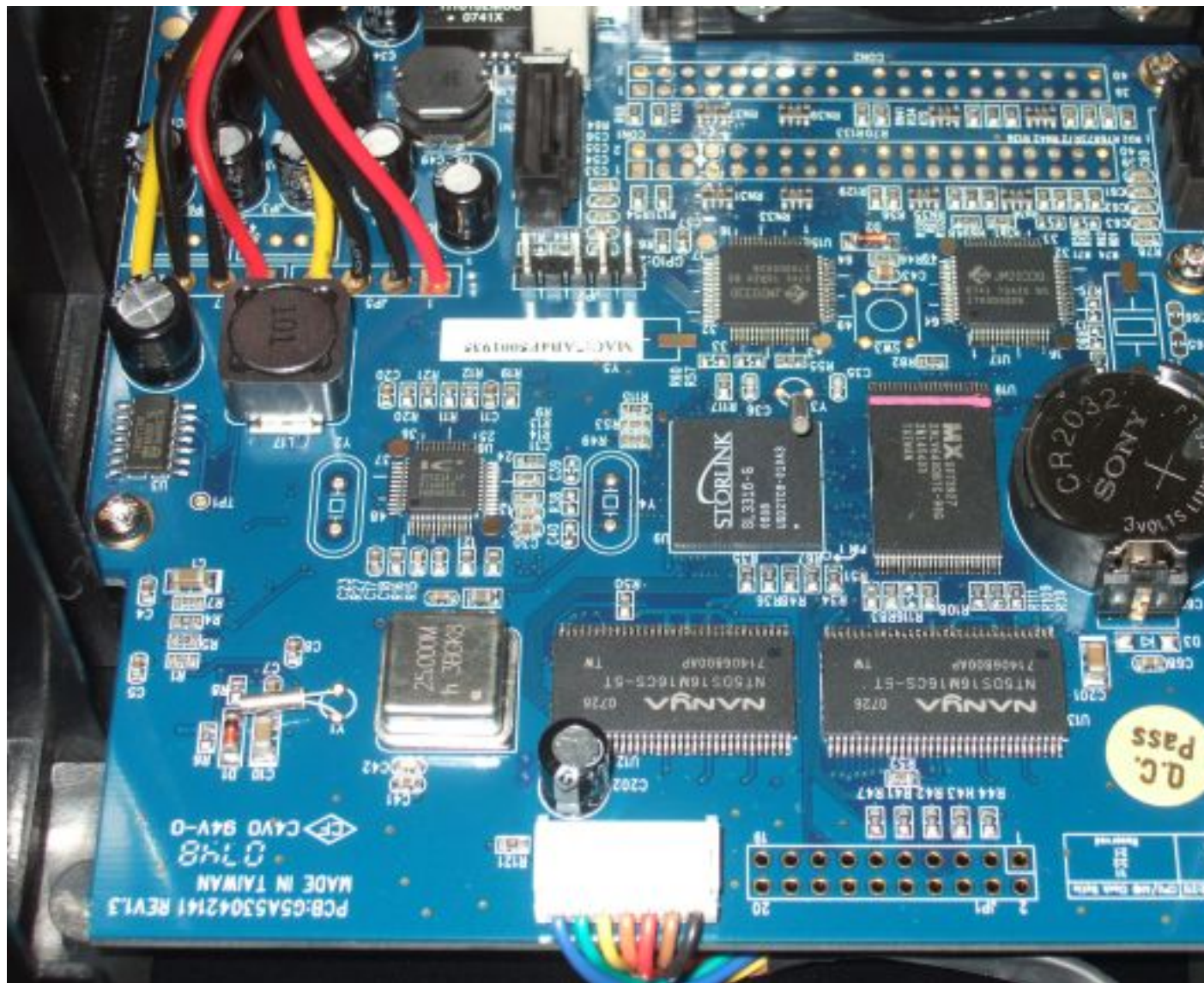
側面部をあけたところ

HDD マウンタの下に基盤があります。



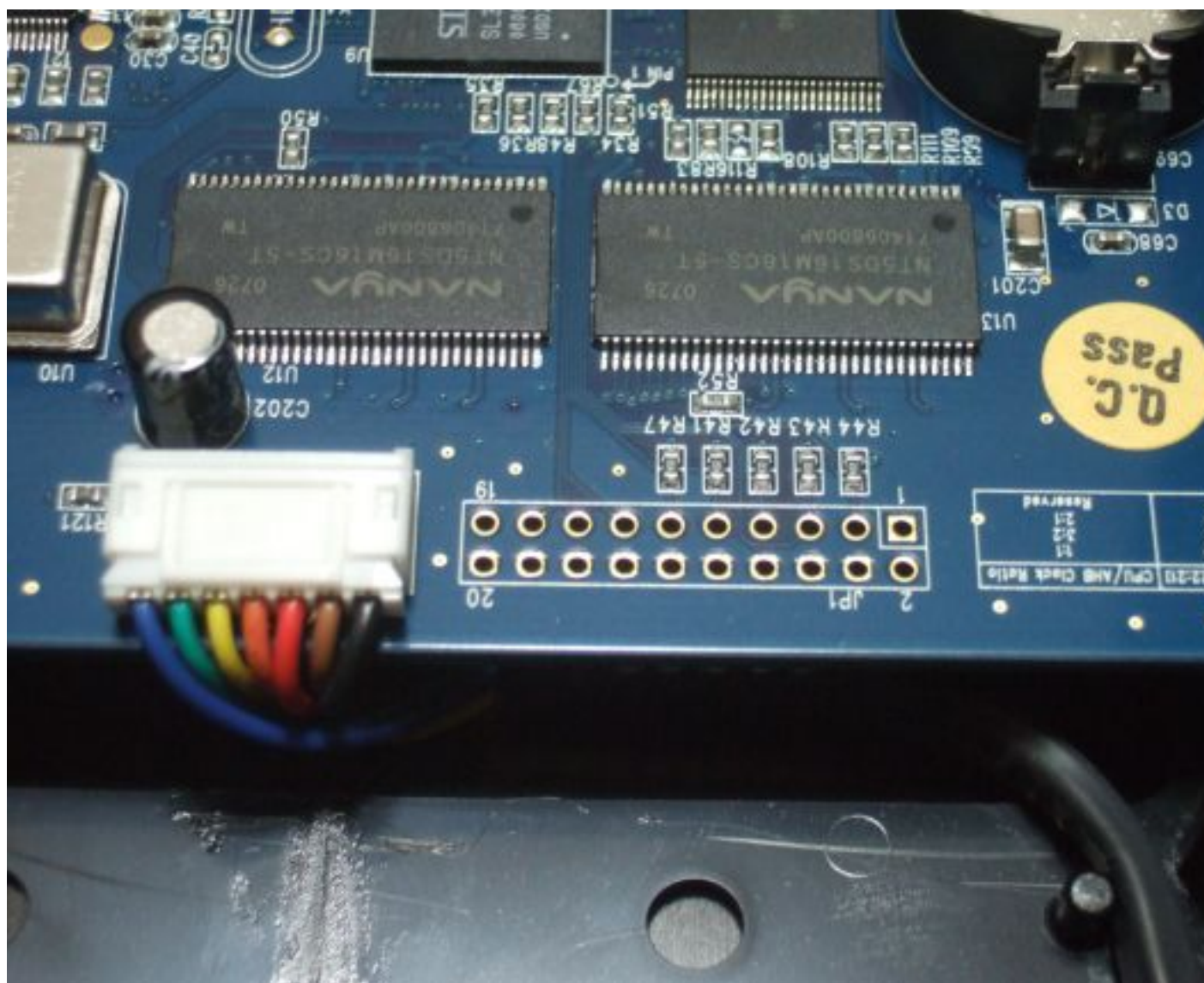
基盤概観

ちょっと見づらいですね。



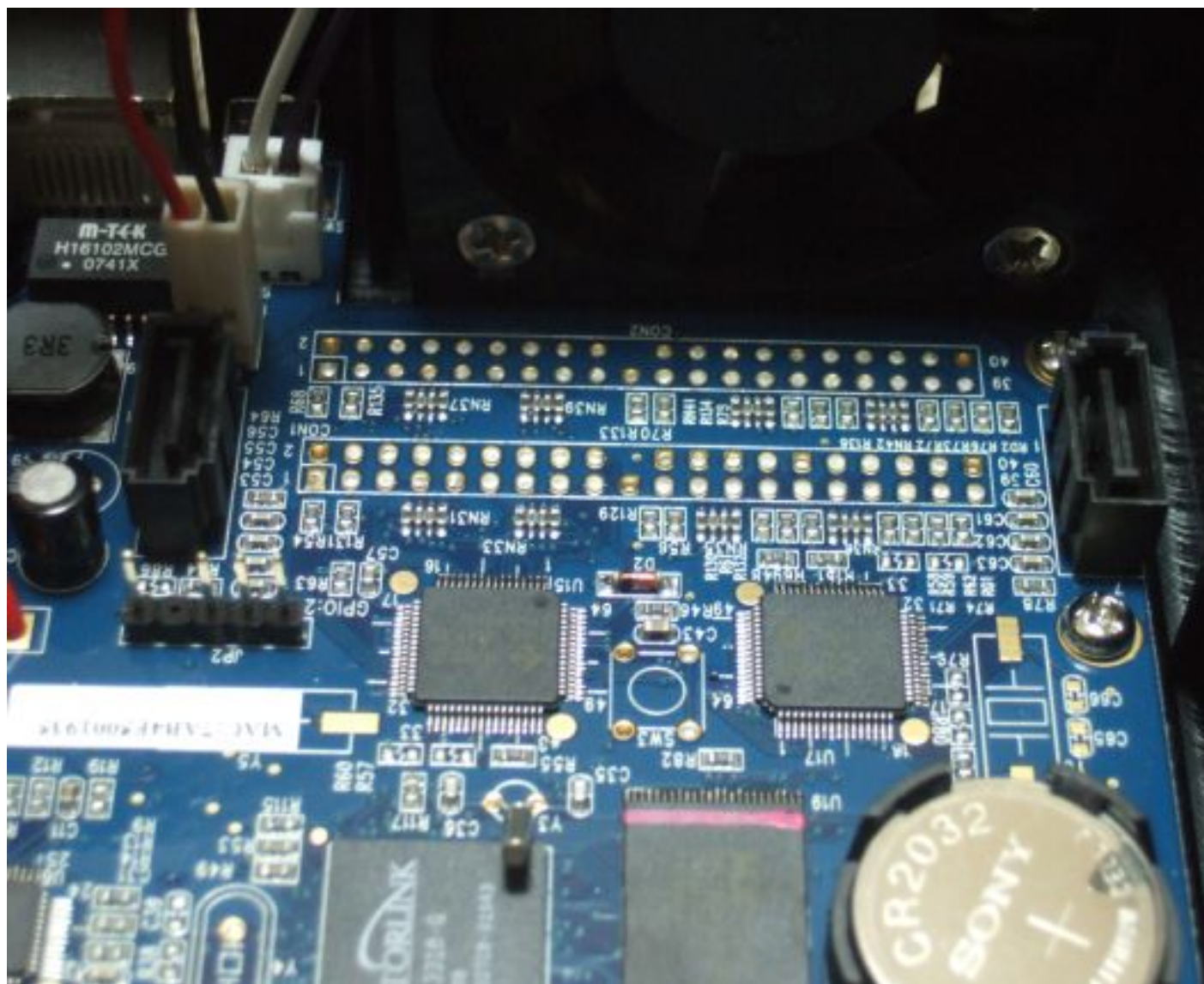
JTAG

おそらく JTAG をつなぐところ。



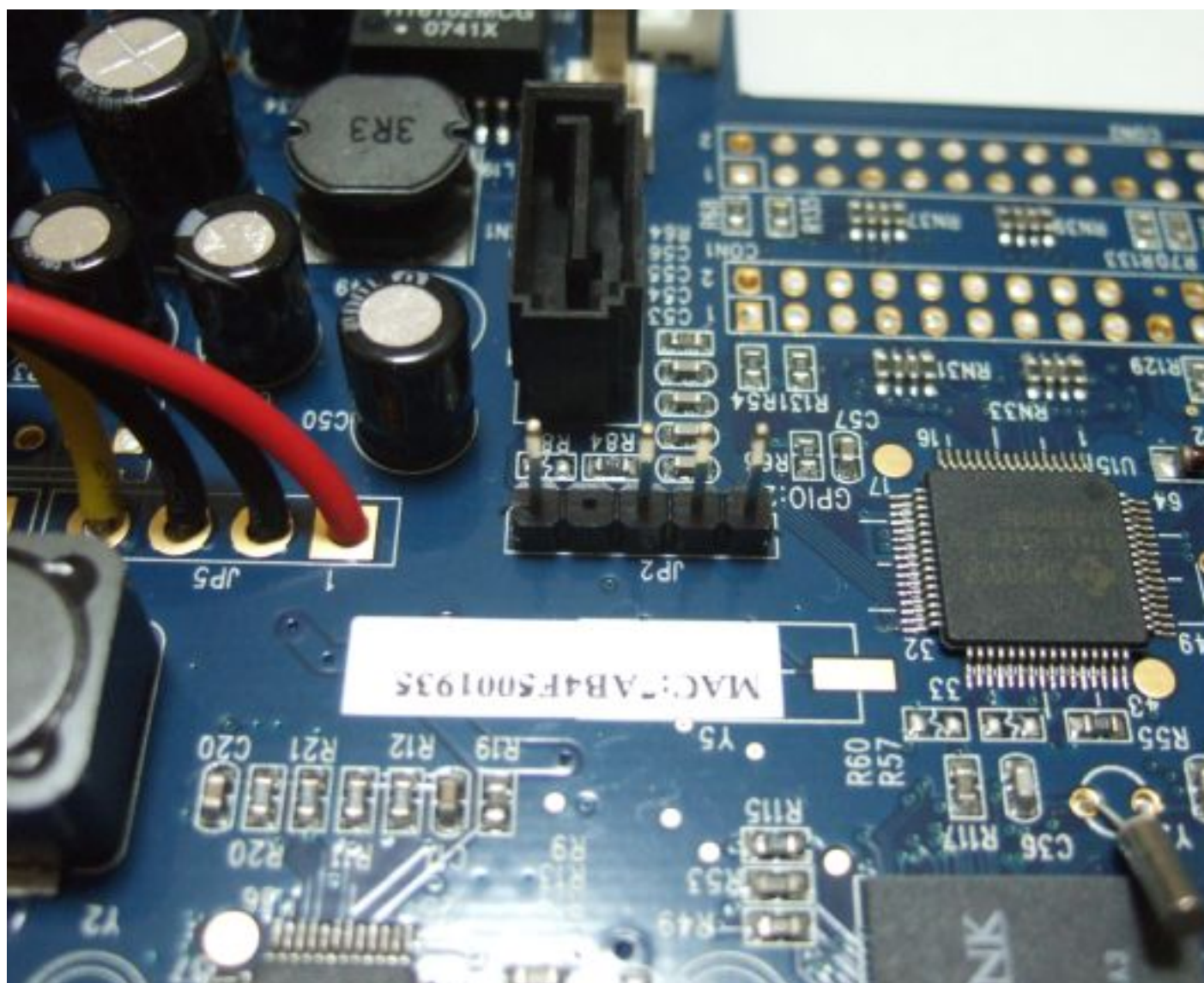
PATA

OEM 版にもある PATA バージョンのための穴。



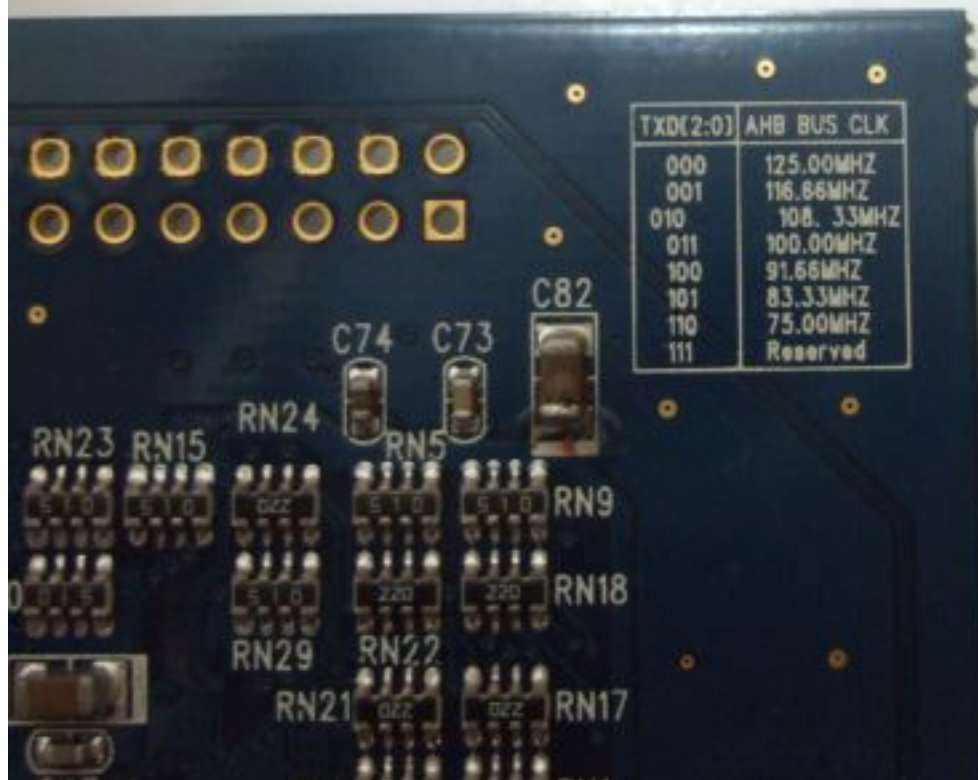
シリアルコネクタ

期待のシリアルコネクタです。



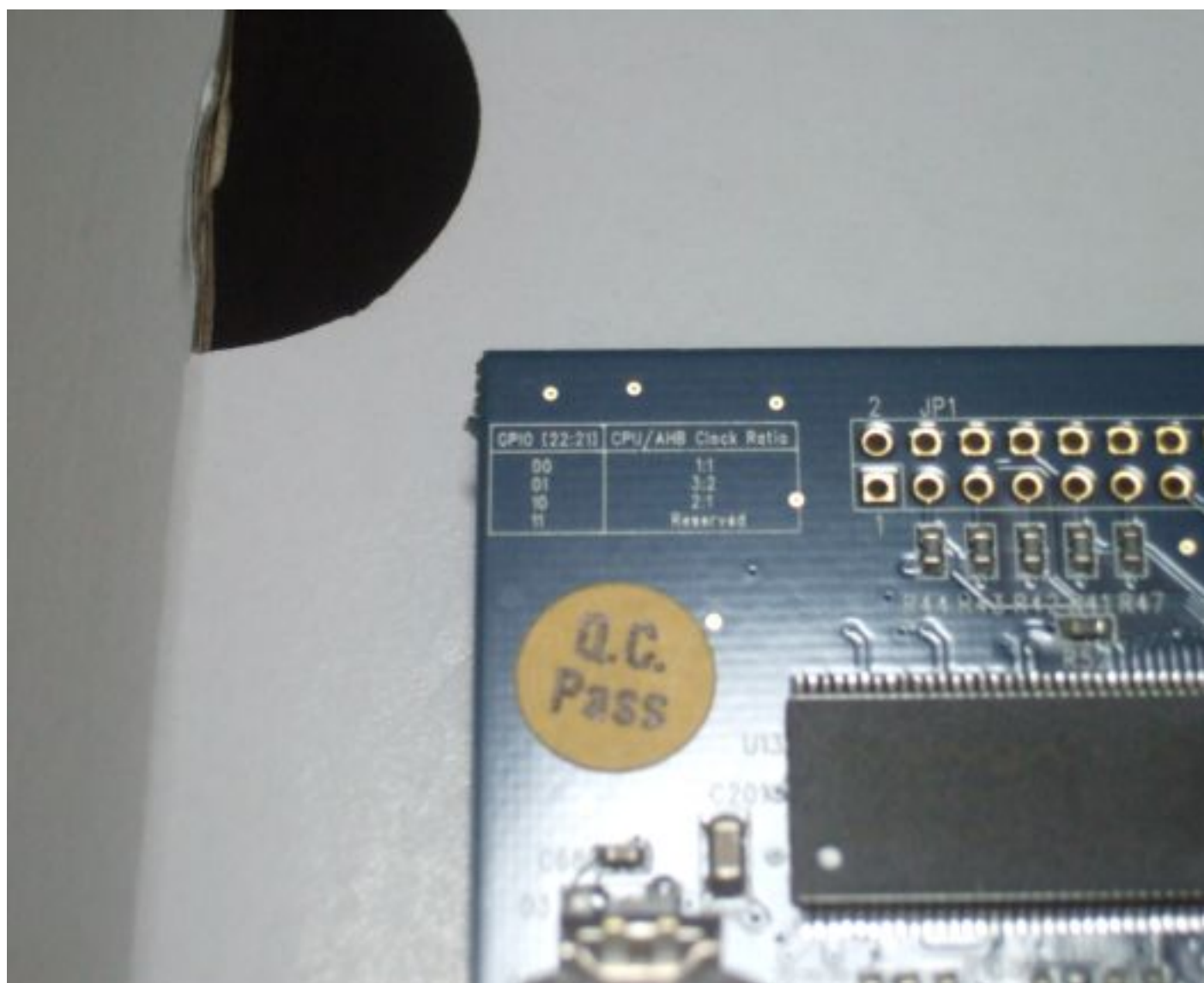
基盤裏面の印刷 #1

AHB BUS CLOCK とか書いてあります。なんだろ。



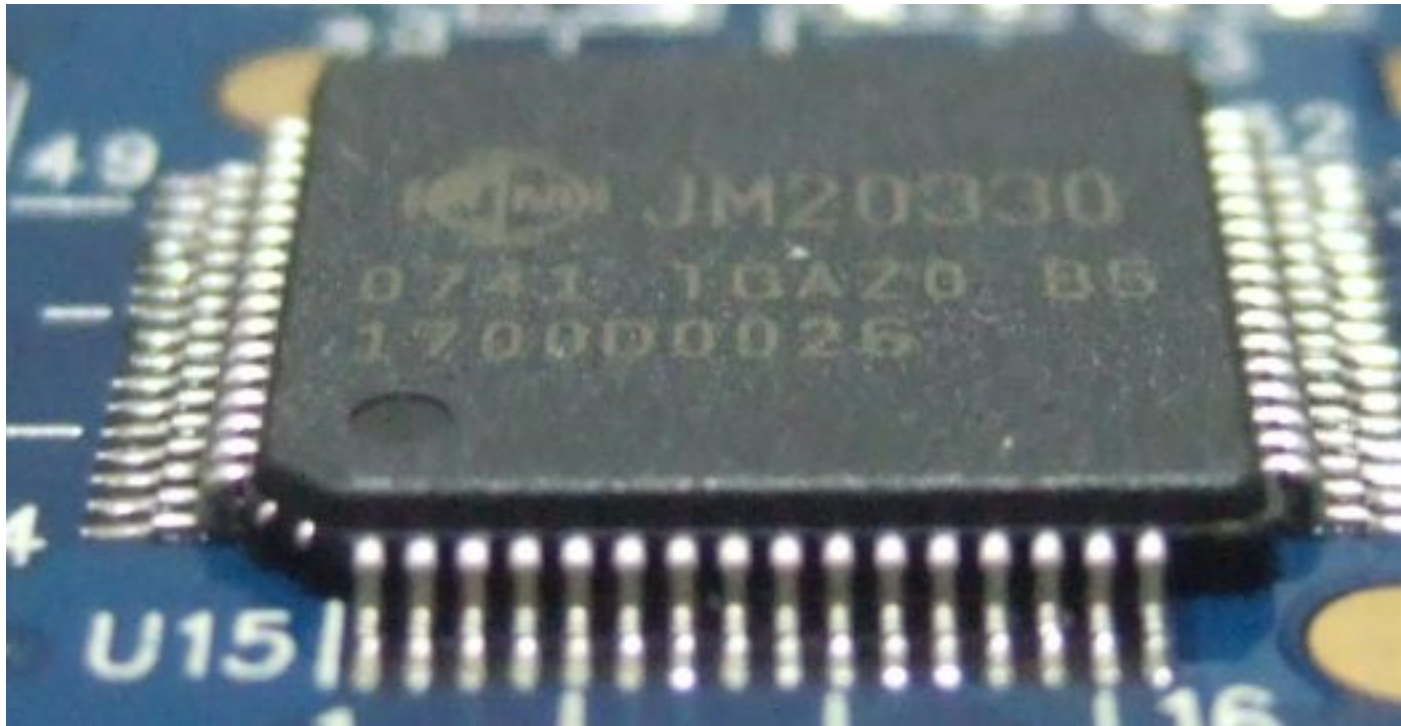
基盤裏面の印刷 #2

GPIO とか CPU/AHB Clock Ratio とか書いてあります。



JM20330

JMicron の JM20330 です。SATA-PATA 変換のチップですか。 <http://www.jmicron.com/JM20330.html>



NT5DS16M16CS-5T

メモリですね。DDR400 の $16\text{ M} \times 16$ なので、えーと 32 M ってこと？

<http://www.nanoamp.com/datasheets/NT5DS16M16.pdf>



29LV640DBTC-90G

MACRONIX の フ ラ ッ シ ュ メ モ リ の よ う で す。
[http://www.macronix.com/QuickPlace/hq/PageLibrary48256_F5500439_ED0_nsf/h_CE4_C9490_FDF4280_B48256_F550043_C6_D8_810_ECE757595_A0_E348256_F56000_A4520_\\$File/MX29_LV640_BTVer17.pdf?OpenElement](http://www.macronix.com/QuickPlace/hq/PageLibrary48256_F5500439_ED0_nsf/h_CE4_C9490_FDF4280_B48256_F550043_C6_D8_810_ECE757595_A0_E348256_F56000_A4520_$File/MX29_LV640_BTVer17.pdf?OpenElement)



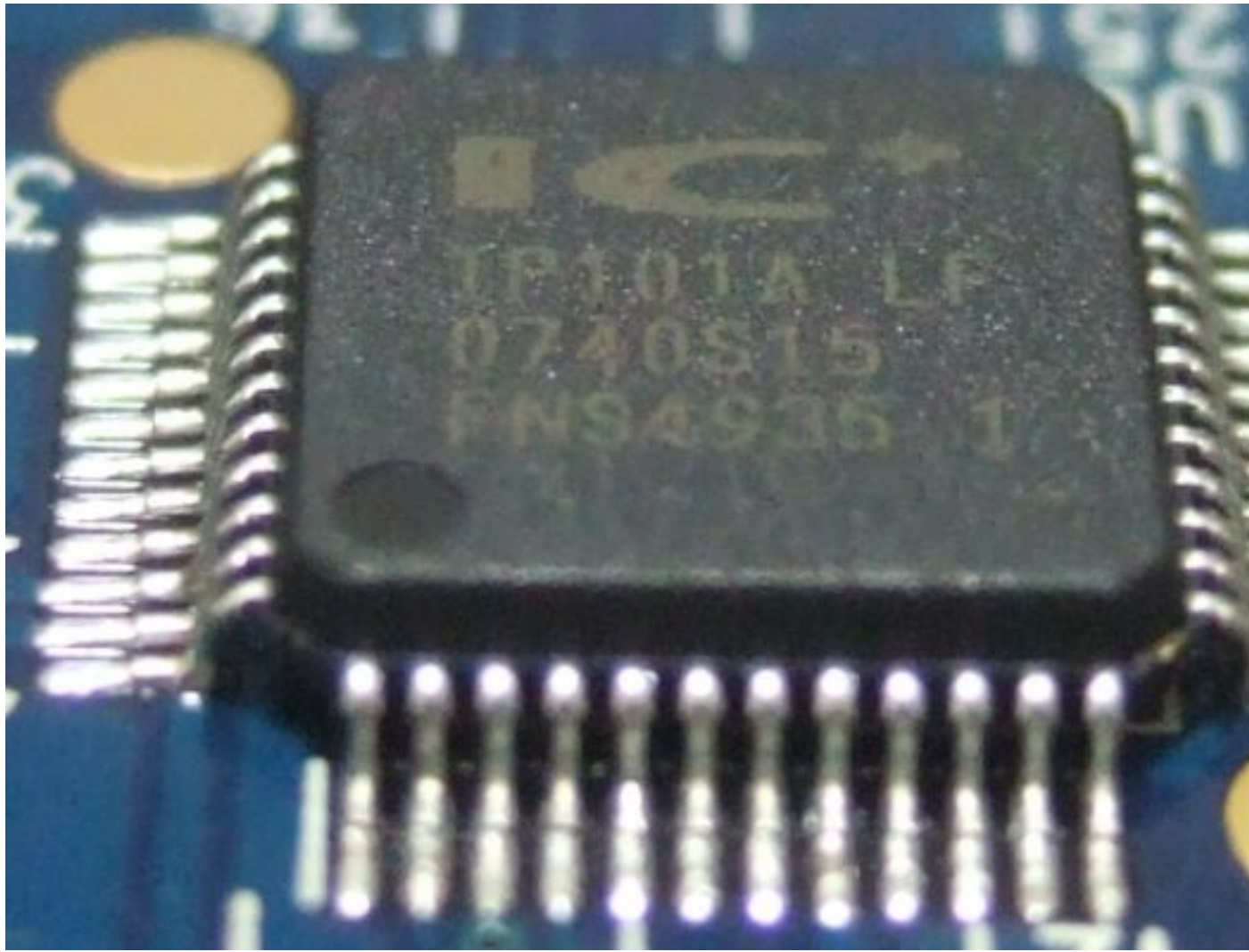
SL3316-G

CPU で す ね。 ARM9 系。 [http://www.asec.com.tw/upfiles/mark01106901530](http://www.asec.com.tw/upfiles/mark01106901530.pdf)
http://www.storlinksemi.com/product_page.cfm?RecordID=7



IP101A

イーサネットトランシーバらしい。 <http://www.icplus.com.tw/pp-IP101A.html>

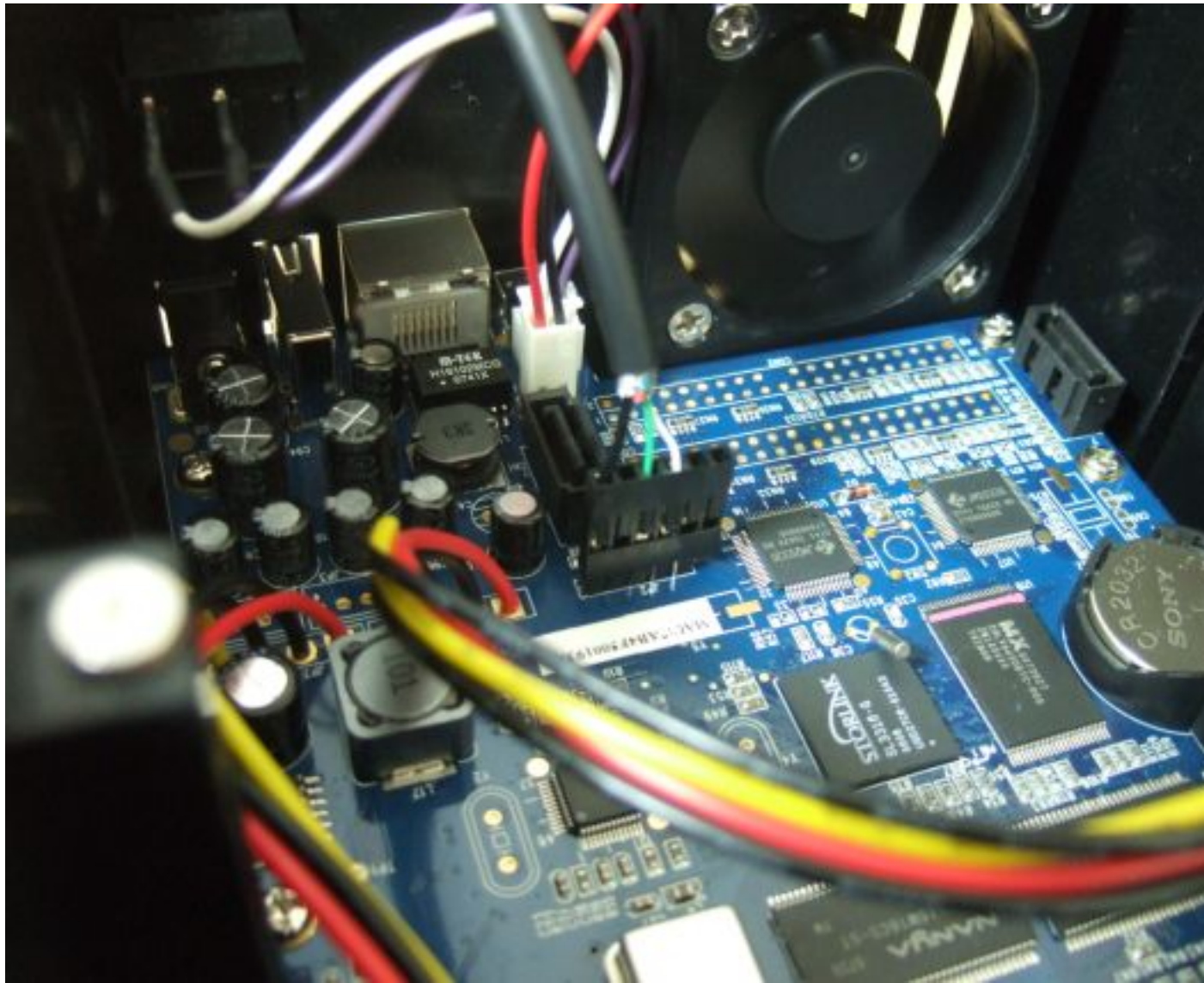


シリアルコンソール

UP-12C という携帯電話接続ケーブルを買ってきて、携帯電話接続コネクタ部分をぶった切り、千石電商で買った信号伝達コネクタをくっつけました。







基板上の JP2 というのがシリアルです。ピンが生えているので、ハンダ付けなど不要でよいですね。速度は 19200bps です。

ピンアサインは次の写真のようになっているようです。

